

# こころる便り

第226号

平成31年1月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二  
株式会社新宮運送グループ  
代表/木南 一志  
kiminami@shingu.co.jp  
電話0791-755-1212

## ルールをやぶれ

新しい年が明けました。今年は何特別な一年になります。御代替わりということでも今上陛下が譲位されることで元号も新しくなります。世界中で一番古い国である我が国が誇れることは数々ありますが、本年は皇紀二六七九年です。皇紀とは初代天皇である神武天皇が即位された年を始まりとして一二六代目の天皇陛下が五月に即位されるのです。西暦よりも長い歴史を持つ我が国の歴史は、自分で学ぼうとしないと学べなくなっています。戦争に負けてから、自分の国の興りも建国の理念も教えてはならないという連合国の指令があったからです。

つまり、自分の国に誇りを持つことを禁じたわけです。その結果、現代の日本は家族で殺し合いをするという世界にも類を見ない変な国になってしまいました。本来は二月十一日我が国の誕生日の日。これは、旧暦の元旦です。だから、年賀状にも「初春」と書きます。春から新学期が始まることにも意味があるのだと思います。春夏秋冬は春からで、生命が芽吹く季節でもあります。

時代が大きく変わろうとしています。きっと、百年後の人たちは平成が終わってからの新しい時代と区分することでしょう。日本も古き良きことを残しながら、未来の夢の世界を実現していくことでしょう。仕事の環境も変わり始めます。単純な働き方改革で終わること

なく、AIを使ったロボット社会となるはずで

す。これから大切なことは、前例を打ち破ることです。今まで通りのルールが適用できない時代を迎えるのですから、これまでのルールを懸命に守ると恐竜のような化石になってしまう

ます。何が大切かを懸命に考え、やってみて、新しいルール作りをしていかねばなりません。その時に大切なことが、「何のために」というモノサシなのです。たとえば、道路でいうなら標識も信号機もない時代がやってくるということとです。いろんな制約がつけられて、規則ばかりが増えてきました。百年後には、ほとんど残っていないと考える方がよいと思います。それは、ロボットやドローンのような機械が人間に変わって仕事をするようになるからです。

では、人間はどうなるか。未来を知りたいなら、過去から学べと先人の言葉に在ります。日本がいかに平和を願って生まれた国家であるか、地球をひとつの家として人類を家族として考えていた稀有な国家なのです。

この機会に、日本をお互いしっかりと学んでいきたいものです。ルールは破られるためであると考えると、大事なことが見えてくるのです。

この一年も元気でまいりましょう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。

## 尋常小學校修身書 卷五 兒童用

### 第十六課 忍耐

アメリカ発見で名高いコロンブスは、イタリアの海岸に生まれ、海が好きで、十四の年から船乗りになりました。其の頃はまだ地理の學問が開けず、又さまざまの迷信などがあつて、遠くに航海する者はありませんでした。

コロンブスはいろ／＼の記録や報告を深く研究して、大地は水と陸とで出来てゐて、其の形は球のやうなものに違ひないから、ヨーロッパから西に向つて、どこまでも進んで行けば、きつとアジアの東に達することが出来ると言出しました。しかし、其の頃の人は大地は平たいものと思つてゐたので、コロンブスの言ふことを誰一人として信じる者がなく、あざけり笑ふばかりでした。



コロンブスはそれに少しも屈しないで、熱心に研究を積んで、いよいよ自分の考へてゐることに間違がないと信じた。そこでどうかしてそれを實行しようとしたが、自分にはとても航海の費用を出す力がなく、りとして事業を助けてくれる人もありません。い／＼／＼苦心したけれども、久しい間、其の志を遂げることが出来ませんでした。後にイスパニヤの皇后イサベラに知られ、其の助を受けて、やつと年來の志を實行する時節が來ました。そこでコロンブスは喜び勇んで、三才の船に百二十人の水夫をのせ、イスパニヤを出帆することになりました。

それから大西洋を西へ／＼と進んで行つたが、日數がたつても、陸地の影さへ見えません。水夫等は、このさきどうなることかと、次第に恐しくなつて、このまゝ引返さうとコロンブスにせまつたが、コロンブスは落ちついて、い／＼／＼水夫等をさとしました。かやうにして進んで行くうちに、陸地が見えたと喜んでゐると、それは雲であつたことが度々でありました。水夫等は失望して、もうとても辛抱しきれず、コロンブスがどうしても引返すことをきかないなら、海の中に投げこまうとたくらんだ者さへありました。けれども、コロンブスは忍耐の心の強い人であつたから、さわいでゐる水夫等を慰めたり、おどしたりして、なほさきへ／＼と進んで行きました。出帆後七十日たつて、遂に新しい島を発見しました。これが今のサンサルバドル島です。それからコロンブスは、一たんイスパニヤへ歸つて、このことを皇后に報告し、其の後、何べんも航海して、とう／＼／＼アメリカ大陸を発見することが出来ました。